

知恵  
1

## 洗濯に適した温度と残り湯の利用

30度くらいの水は酵素入りの洗剤の働きを最も高め、衣類の伸び縮みも防ぎます。これにピッタリなのがお風呂の残り湯。洗うときに使って、節約しましょう。すすぎはきれいな水で行ないましょう。

知恵  
2

## 色物には色落ちテストを

色落ちが心配な色物は色落ちテストをしましょう。洗剤の原液を目立たないところにたらし、5分おきます。白い布で叩いて、色がついてなければOKです。

知恵  
3

## 黒服の色落ち防止にビールかほうれん草のゆで汁

黒い服は何度も洗濯して干していると、徐々に色落ちしてあせてしまいます。そんなときに効くのがビールです。普通に洗濯してすすぎをするときに残ったビールを入れて、脱水します。それから陰干ししてみてください。見違えるほど真っ黒に戻ります。また、素材がウールの時は、ほうれん草のゆで汁ですすぐとよいです。

知恵  
4

## シャツの襟や袖はベンジンで汚れをしっかりとす

白いワイシャツやブラウスの襟まわりや袖口の汚れは、普通に洗濯しているだけでは落ちにくいものです。ここではベンジンを使った汚れとりを紹介します。ベンジンを含ませた布で汚れ部分を叩きます。それから汚れてもいい別の布をあててアイロンをかけると、熱の力によって布に汚れがみるみる吸いとられます。ベンジンが乾くまで、布の位置をかえてこれをくり返しましょう。

知恵  
5

## 黒い服はストッキングに

黒い服を洗濯した後に面倒なのが、表面についてしまったゴミです。古くなったストッキングに入れ、口を紐で縛ると、ゴミがつくのをかなり避けられます。

知恵  
6

## 洗濯機にスポンジとペットボトルを入れて洗浄力アップ

洗濯機に入れると洗浄力がアップするものがスポンジとペットボトルです。スポンジは細かいゴミや糸くずを自然に取り除きます。ネットに入れたペットボトルは水流を複雑にさせるので、水の力を強くさせるというわけです。

知恵  
7

## 洗剤のかわりにシャンプー、柔軟剤のかわりに酢

洗剤がないときにはシャンプーで代用しましょう。また、柔軟剤のかわりに少量のお酢やリンスが活用できます。リンスは使う前にお湯でしっかり溶きましょう。

知恵  
8

## 素材によって使い分ける手洗い

## エリはブラシ洗い

汚れのたまりやすいシャツの首まわりや袖口は細かく洗える歯ブラシが便利。

## シルクはふり洗い

シルクなどの繊細な生地の衣類はふり洗いのでいいに洗います。ごしごしとこすり合わせるのはNG。

## ブラウスはつかみ洗い

化学繊維のブラウスなどのやわらかな衣類は、汚れをギュッと出すようにつかみ洗います。

## ウールは押し洗い

しわをつけずに、ふんわり仕上げたいウールは押し洗います。無理に引っ張ると伸び縮みの原因に。

## 綿はもみ洗い

丈夫な綿はもみ洗いがよいでしょう。でもしわがつきやすいのでしっかり伸ばすのを忘れずに。